

■植生調査について

植生調査の概要は以下に示すとおりである。

1. 調査方法**(1) 植生分布**

植生分布については、調査地域内に成立する植物群落について、その広がりや分布状況等を平面上に記録し、現存植生図の作成を行う。

(2) 植物群落（群落組成）

調査地域内において確認された植物群落について、各群落1地点ずつの調査枠（コドラート）を設け調査を行う。

種組成の把握にはブラウンプランケの全推定法を用い、調査地域に出現した植物の被度、群度を階層ごとに測定する植物社会学的調査を行う。

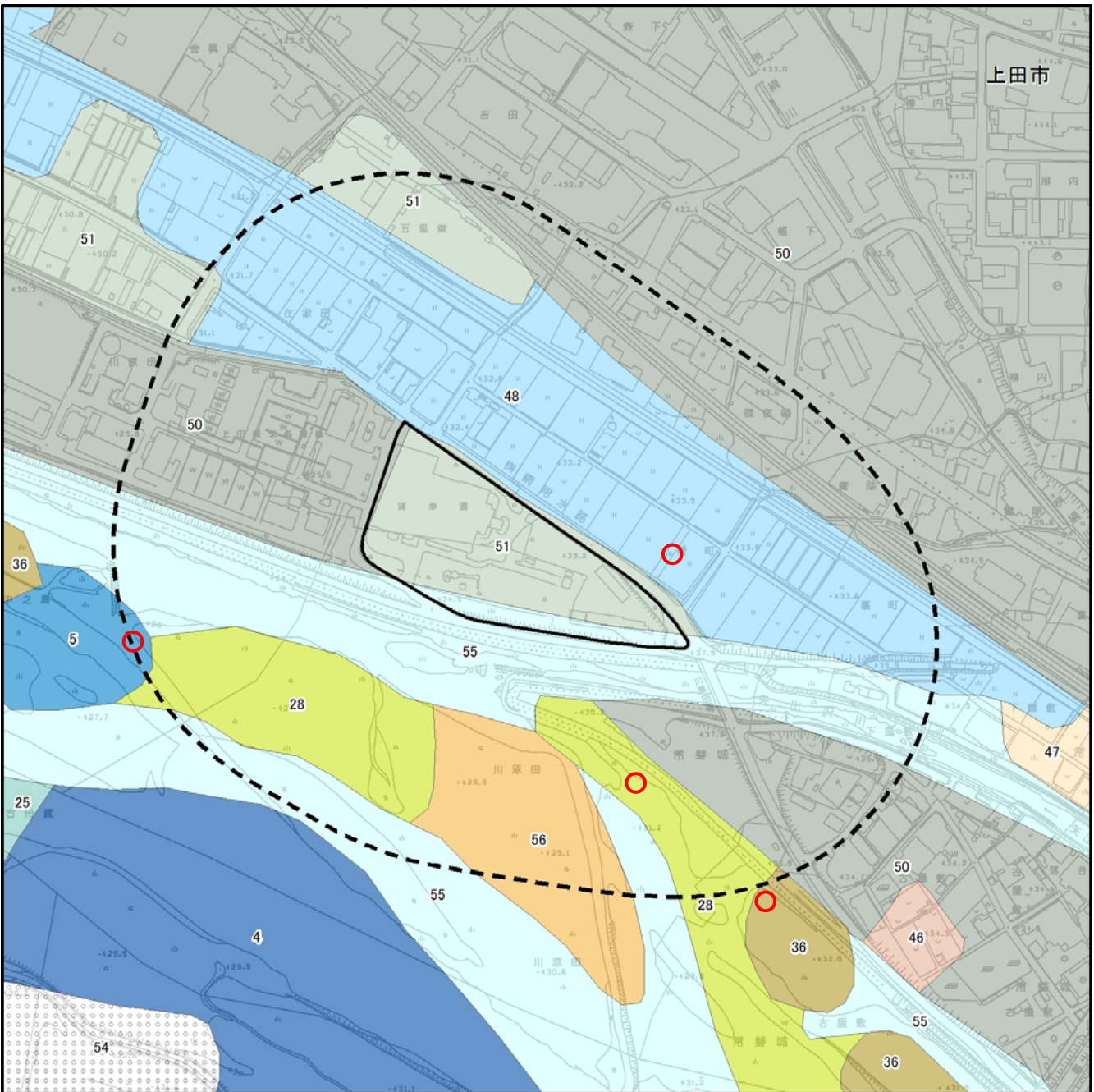
2. 調査時期

調査時期は夏季及び秋季の2回とする。

3. 調査地域及び地点

調査地域は、対象事業実施区域から200m程度の範囲内とした。調査地域及び群落組成調査地点は図1に示すとおりである。

なお、群落組成調査地点は、既存資料から読み取れる植生群落を基に想定で設定しているが、今後現地調査を実施し、変更する可能性がある。



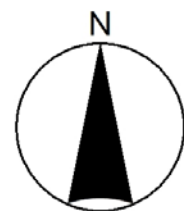
凡例

□ 対象事業実施区域

⋯ 調査地域 (対象事業実施区域から200m)

○ 群落組成調査地点(想定)

- 04ヤナギ高木群落 (IV)
- 05ヤナギ低木群落 (IV)
- 25ツルヨシ群集
- 28カラヨモギ群落
- 36ニセアカシア群落
- 46果樹園
- 47畑雑草群落
- 48水田雑草群落
- 50市街地
- 51緑の多い住宅地
- 54造成地
- 55開放水域
- 56自然裸地



1:5,000

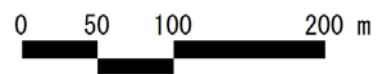


図1 植生調査地域及び地点(仮)

(参考：住民向けに準備書に記載する内容)

① 被度

被度とはコドラート内で各植物種が地上を被う割合を表したものである。

ブラウンブランケの全推定法による被度区分を表 1 に、被度別模式図を図 2 に示す。

表 1 ブラウンブランケの全推定法による被度区分

被度	条件
5	被度が調査面積の3/4以上を占めているもの。
4	被度が調査面積の1/2以上～3/4未満を占めているもの。
3	被度が調査面積の1/4以上～1/2未満を占めているもの。
2	個体数が極めて多い、又は被度が調査面積の1/10以上～1/4未満を占めているもの。
1	個体数は多いが被度は1/20以下、または被度が1/10未満。
+	個体数も少なく被度も小さい。

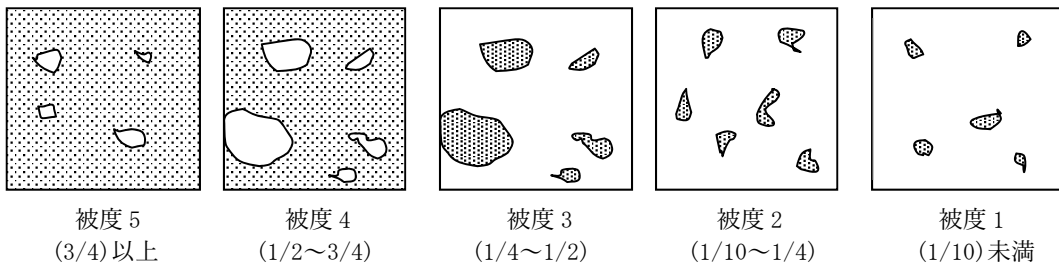


図 2 被度別模式図

② 群度

群度は優占度の大小とは関係なく、コドラート内における植物種の配分状態を表したものである。

群度区分を表 2 に、群度別模式図を図 3 に示す。

表 2 群度のランク区分

群度	条件
5	コドラート内でカーペット場に一面に生育しているもの。
4	大きなまだら状、またはカーペットのあちこちに穴のあいた状態。
3	小群のまだら状のもの。
2	小群をなしているもの。
1	単独で生育しているもの。

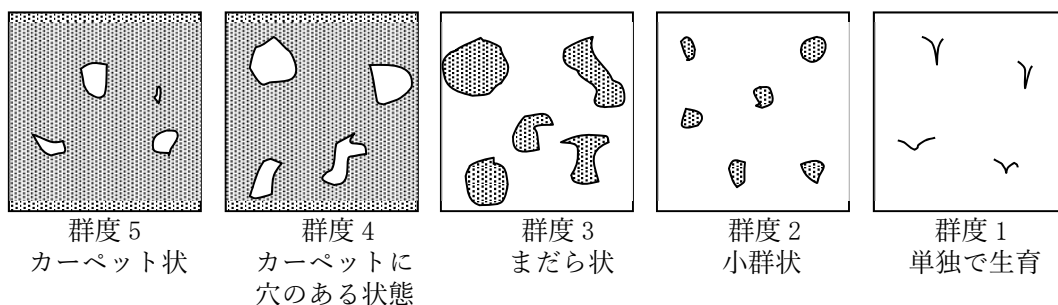


図 3 群落別模式図